

エクストリームシリーズ 2018 尾瀬街道檜枝岐大会

■尾瀬街道檜枝岐大会 2名カテゴリー ミックス 優勝チームコメント

ふきのとう 中田博喜・落子さん

今回は女子2人、男子1人のハーレムスタイルのつもりでしたが、急遽夫婦二人水入らずのガチレースになりました。

ARJ、上国という数日に渡るロングレース連戦からのデイレースはギャップがすごく、序盤は細かいミスや釣り堀でイワナに相手にされず…第1レグのトレッキングは6番手通過くらいで焦りました。

次のMTBレグは問題なく4番手まであげ、差の着きそうな核心の第3レグのトレッキングへ。前は約3分差、後ろも続いている状態。

CP10までの道は林道迂回から登りか、藪漕ぎの尾根直登ルートを選択だったが、みんな迂回するんだらうなと思いつつ藪漕ぎを選択するも順位変わらず…

本当の核心はCP13でした。見通しの効く送電線沿いのトラバーストレイルからの沢の選択。想像以上に難しく、一本手前に間違えてから疑心暗鬼で入った次の沢で発見。パンチを見るとまさかの1位通過！

沢から脱出していると三チームほど続々入ってくる。ここから最後のCP14までの脱出が勝負と見てギアを上げる。道と踏み跡と沢と藪を使い分けてCP14へ突進しなんとかトップ通過。うまく抜けられたので差を付けられたように思いました。

最終はMTBでの下りの帰り道をとにかく最高速で進み、そのままトップでゴール。

尾瀬檜枝岐は初めて来ましたが、綺麗な水、眩しい緑、気持ちいい温泉、美味しい日本酒があり、たっぷり遊んでたっぷり癒されて、とても素敵な週末を過ごすことができました。

■尾瀬街道伊南大会 体験版レース 参加者コメント

バルセロニャン 大久保 慎さん

親子で体験版にご参加いただいた大久保さんがご自身のブログにて体験の様子を詳細に書いてくださっています。以下リンクよりご覧ください。

<http://www.daringdaddy.com/entry/hinoemata-race-report>